

2025 vol.77 12月定例会

つわの議会だより

県道津和野田万川線

全線開通予定 令和15年頃 (なごみの里付近から山入まで)

令和トンネル

令和6年 第10回12月定例会

- 新年のごあいさつ 2
- 一般会計補正予算 3
- 一般質問 4~10
- 賛否表・専決処分 11
- 所管事務調査報告 14
- 全員協議会 15
- 読者モニター・編集後記 16



新年のごあいさつ

津和野町議会
議長 草田吉丸

明けましておめでとうございます。

津和野町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は津和野町議会に対し、温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、一月一日、正月気分を吹き飛ばすような能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。

一年が経過しましたが、復旧・復興が進んでいないとの声もあるようです。

一日も早く被災前の日常が戻ることを願うばかりであります。

津和野町においては、幸いにも大きな災害は発生しませんでした。が、こうした災害に対する心構えや、防災・減災対策の重要性を改めて認識しているところです。

津和野町においても明るいニュースもありました。

三月二六日、津和野町地域活性化複合施設である「まごころ市場にちはら」が竣工し、株式会社丸久様による運営が始まりました。

地域の買い物支援の拠点として、交流の場として、末永く継続できることを願っています。

名誉町民でもある佐々田正徳様からは、津和野高校への寮や森鷗外研究センターを寄贈頂くなど、本町の発展に献身的な貢献をしていただきました。

津和野町 築城七〇〇年記念行事は、年間を通じキャンペーン、イベントが開催され、多くの来訪者を迎えることが出来ました。

農業部門においては、米の生産者価格が生産コストに近づく価格に戻ったことは、農家の皆様にとっては喜ばしいことでありました。

高津川が八回目の清流日本一となったことや、SL山口号が、二年ぶりに運転を再開したことも特筆すべき出来事でした。

本年も引き続き、経済活性化対策、若者定住対策や集落の維持活性化対策、また、高齢化社会を迎えた本町にとって、医療、介護、福祉の充実、空き家対策等の重要課題が山積しています。

議会といたしましても二元代表制の一翼を担うものとして、町民の皆様の声を大切に、真摯な議論を重ね、諸課題の解決に向け、行政と連携して全力で取り組んでまいる所存であります。

昨年は町内の公民館単位で議会座談会を開催させていただきました。多くの皆様に参加いただき、貴重なご意見を賜りましたことに対し、改めて感謝申し上げます。

結びにあたり、新しい年が、町民の皆様にとって夢と希望が持てる、明るい年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和七年 正月

【専決処分】令和6年度津和野町一般会計補正予算（第6号）

11月27日招集開催の議会臨時会にて承認

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1481万円を追加し歳入歳出予算の総額を100億3126万3千円とするもの

「主な歳出」

〈千円以下切り捨て〉

総務費

- 選挙費 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費 …………… 1481万円

令和6年度津和野町一般会計補正予算（第7号）

12月13日招集開催の議会定例会にて可決

歳入歳出それぞれ2億1909万9千円を追加し、総額102億5036万2千円とするもの

「主な歳出」

抜粋 〈千円以下切り捨て〉

総務費

- 庁舎内パソコン更新に伴う庁用器具 …………… 669万円
- ペンション北斗星整備工事に伴う設計監理委託料 …………… 250万円
- 笹山沼原線運行業務追加に伴うバス運行業務委託料 …………… 123万円
- なごみの里修繕工事負担金(チップボイラー) …………… 137万円

民生費

- 吉賀町银杏寮給与改定等による養護老人ホーム負担金 …………… 608万円
- 直地保育園熱中症対策事業に伴う保育環境改善等事業補助金 …………… 102万円
- 生活保護費の医療扶助 …………… 611万円

衛生費

- 水道未普及地域の給水施設修繕等に伴う給水事業費助成金 …………… 100万円
(木毛地区 2件)

農林水産業費

- 豪雨被害に伴う農地農業用施設小災害復旧事業補助金 …………… 124万円
- 土壌改良における集落営農機械等整備支援事業補助金 …………… 187万円
- 直地中洲橋修繕設計の追加 …………… 320万円
- 有害鳥獣駆除の増加に伴う有害鳥獣捕獲奨励事業費補助金 …………… 240万円

土木費

- 扇町急傾斜地崩壊対策事業の増額に伴う県営事業負担金 …………… 200万円
- 津和野、日原地区における町道等の道路維持業務委託料 …………… 1295万円
- 町道植山線側溝整備工事と町道駅前線側溝工事請負費 …………… 1259万円
- 河川環境整備費では相撲ヶ原川河床掘削工事費 …………… 491万円

消防費

- 3名分の退職報奨金 …………… 109万円

教育費

- 木部小学校体育館屋根改修工事請負費 …………… 700万円
- 日原地域活動拠点施設新築工事設計業務委託料 …………… 297万円

災害復旧費

- 添谷地区の段田農道路肩崩壊に伴う工事請負費 …………… 275万円

※【専決処分】とは…議会の議決すべき事件について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき、その議決すべき事件を処分することができる。(地方自治法179条)

Q 空き家の件数が多い

A 相談員の体制拡充が重要



かわだ つよし 川田 剛 議員

問 現在、空き家情報バンクに登録されている物件は何件か。

町長 325件である。

問 これまでに賃貸契約、売買契約が締結された物件は何件か。

町長 賃貸契約が213件、売買契約は56件である。

問 空き家所有者が、所有する空き家について津和野町空き家情報バンク事業を活用する場合、賃貸契約、売買契約に至るまでどのような手続きになるか。

町長 必要書類を提出いただき、所有者と津和野町住宅相談員立ち合いのもと物件の確認をする。

その後、書類や物件の状態等を住宅相談員が精査した後、町ホームページに公開し、入居者を募る。

問 住宅相談員が契約に際し、仲介手数料等費用を求めていることがあるのか。

町長 津和野町において相談員として委託料を支払っているため、住宅相談員が売主、買主の仲介に入つての仲介手数料はいただいていない。

問 325件もある空き家を1人の相談員にお願いしているのは厳しいのではないか。

町長 宅地建物取引士の資格をお持ちの方は町内に何人かおられるが資格登録している方が少ない。

現状1人の方がご自身のお仕事を抱えながら、住宅相談員の仕事をされているので、体制として拡充していくことが重要である。

問 空き家に関する各補助金は例規において「空き家の改修は、同一物件に対して1回限り」「個人で改修する場合は、賃借人は3親等以内の親族でないこと」とある。

この条項については検証し、見直すべき旨を過去に指摘している。

町長 「空き家の改修は、同一物件に対して1回限り」については、規定の見直しを検討しているが、「個人で改修する場合、賃借人は3親等以内の親族でないこと」の制限は必要である。

Q 売却できる施設は売却を

A 管理方法の見直しを検討

問 ペンション北斗星について民間業者が管理運営に携わりたいとの申し出があったと報告があった。

また、交流センターひまわりについて、高校生や社会人等の交流の場・学べる交流宿として民間企業により活用するという報告があった。

現在までの進捗状況は。
町長 ペンション北斗星の活用については、2025（令和7）年4月から、指定管理者制度の導入を前提とした運営再開に向け、今年度中の改修工事完了、関連議案を3月定例会に提出する予定。

交流センターひまわりの活用については、民間企業と事業企画内容の精査を進めている。25（令和7）年度より施設の用途に沿って必要な軽微な修繕等を進め、施設整備が整い次第、各種ソフト事業の企画を検討している。

問 町所有物件を民間企業が利活用することについて、公共の福祉に反しないものに関しては、委託運営ではなく、売却できるも

のは売却し、民間に運営を任せるべき。
町長 06（平成18）年に指定管理者制度を導入した。

現在、施設の老朽化により修繕箇所が増加し、施設の維持は指定管理者と行政において大きな課題となってきた。

指摘のとおり、売却や譲渡の検討やPFI^{（注）}などを含めた管理方法の見直しを検討すべきと考えている。

施設を管理する各所管課において今一度施設の在り方を慎重に検討し、長期的な視点に立って判断していくよう徹底したい。

（注）公共施設等の建設、維持管理運営等を民間の資金、経営能力と技術能力を活用して行う手法

Q 地域計画作成の進捗状況は

A 今年度内に目標地図の作成まで完了できる段取りで進行



み たらい つよし
御手洗 剛 議員

問

農業の耕作放棄地や担い手不足が全国的に深刻化してきている中で、2012（平成24）年より「人・農地プラン」の農業経営基盤強化促進法等が改正・施行され、新たに「地域計画」を策定することになった。

地域計画では、「地域内の農業を担う者（全ての農業者）」について現状と10年後の経営作物と経営面積を一覧にして、農地一筆ごとに将来の利用者を明確化した「目標地図」を新たに作成することになった。

「目標地図」は、農業者や地域のみなさんの話し合いにより作成される。

現状と今後の対応は。

町長 地域計画の策定に向けての全体計画は、概ね計画どおり進行している。

現在、4つの地区において地域計画面案の作成までが終わっている。他4つの地区においても、既に協議の場を何度か開催して、目標地図及び地域計画の素案段階までは作成している。

残りの1地区においては、年内に目標地図の作成まで完

了できる段取りで進行している。

従って、今年度内には、全ての地区の目標地図及び地域計画をまとめたものを関係者への意見聴取や、地域計画面案の公告という段階を経て、地域計画を策定できるよう進行している。

問

全国的には10年後の地域農業の姿を描く「地域計画」の作成作業が遅れていると聞く。

農地一筆ごとに耕作する人を明確化する「目標地図」で難航している。

作成期限は年度末であるが、当町での作成状況は。

町長 10年後を見据えた計画を作る必要がある中で、全体的に担い手不足等の課題から農地の集積・集約に向けた議論は進まず、目標地図が現状地図とほぼ一緒となる現状もあるが、計画策定後も年一回以上は随時更新していくこととされており、10年後に向けて、より丁寧な協議を促していくことで、少しずつ完成度を高めていくこととしている。

問

作成中の目標地図で担い手不在の集落

や耕作が困難な農地の状況把握は。

町長 地域計画では、将来において農地を利用する者は、いわゆる「担い手」と規定される認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織よりも広い者が対象となっている。このような状況から、担い手不在の集落でも中小規模の農業者を将来の農業を担う者として目標地図に位置づけて作成している。また、耕作が困難な農地の状況把握ということであるが、地域計画を策定するにあたり、地域での話し合いの協議事項の一つとして、農業上の利用が行われる農用地等の区域の設定を行っている。農業生産利用に向けた様々な努力を払ってもなお、耕作が困難な農地については、この地域計画の範囲から除外することとなっている。

問

10年後において農地の耕作者が不明確なもの、目標地図を「白地」とせざるを得ない。この事についての今後の対応は。

町長 地域計画は地域の話し合いの場において問題解決をしていくことを基本としており、地域計画策定後も引き続

き協議の場を重ねて問題解決に向けた計画の更新を行っていくべきである。

町の対応策としては、集落営農法人化への支援や、Uターン者の呼び込みによる新規就農者確保等の取組みに加え、周辺の担い手による集積が行いやすくなるよう、要望がある集落においては、圃場整備事業の実施等も検討する。

また、農業経営を継続していただく取組みとして、当町独自の施策として実施している、中規模農業者の方々を対象とした農業用機械導入の補助事業の継続を行っていく。

問

その他、課題は。

町長 地域計画の協議を進めていく上での懸案事項としては、不在地主の問題がある。地元にはない地主の意向確認をどう行うべきかという課題がある。

今後、不在地主の案件は増加していくことが予想されることから、地域の協議段階での合意形成に時間がかかることが予想される。



たなか うみたろう
田中 海太郎 議員

Q 津和野町における廃棄物の現状は

A 人口減少と共に排出量は減少、更なる減少を進める

問

先月、プラスチック環境汚染を防止する国際会議が行われたが、当町としての考え方は。

町長 今よりきれいな環境を残していくために、プラスチックの利用・購入を控えるよう啓発活動を行う。

問

不燃物の分別に従事される方の、作業における苦労は計り知れない。その軽減のため、ペットボトルの分別回収を検討する考えは。

また、ペットボトルは有価物としても貴重な資源でもある。

町長 新たなゴミ袋の作成による予算増、各家庭での分別負担の増加など、課題はあるが、吉賀町や関係機関と検討していきたい。

問

中でも容器包装プラスチックゴミに危険物や汚物が混入している場合があり、職員の作業負担増となっている。

町として収集場所でのある程度の選別は可能か。

町長 ゴミの収集時間が非常にタイトなので、収集場所をチェックするのは難しい。

問 ゴミ分別の周知方法は、今後どのような方法で行う予定か。

町長 ケーブルテレビや広報での周知を継続するほか、小中学校等でのゴミ分別説明会や施設見学会の実施、各種会議での映像上映などを行っていききたい。

問

不燃物処理場に搬入された粗大ゴミの多くは、破砕されて熱源利用で燃やされる。それではもったいない。リユースの方法を模索できないか。

町長 中座の旧焼却場に粗大ゴミの仮置き場がある。今後そこを解体して、粗大ゴミリサイクルが出来るように検討していきたい。

問

また商品プラスチックも、金属類と分別された後に、クリーンセンターに運ばれて、熱源利用として燃やされている。

町長 ゴミ問題を考えるにあたり、消費する際の意識、ゴミを捨てる時の意識、そしてゴミを回収・リサイクルする側の意識と、それぞれの側面から対策をしていかなければならない。

そして色々な媒体を使って、様々な啓発活動を行っていかねばならない。

Q スクールバスの混乗化(注1)を進めるべき

A 課題を整理して検討する

問

その課題は、利用料金や予約、各種承認手続きなど、それほどハードルは高くないと思われるが。

教育長 その他にも手続きはあり、一つ一つを整理して検討していかなければならない。

問

他の地域では、貨客混載(注2)も進められている。当町ではそのような動きはあるか。

町長 一定の需要はあると思われるが、住民から意見として寄せられていないため、運用の動きはない。

Q 高校魅力化と町の連携は

A 探求的な学習とデジタルの活用を進める

問

デジタルの推進は、地元生徒の増加にはつながらないのでは。

また、県外生徒に対しても、デジタルよりも、津和野の歴史や自然や文化をしっかりと堪能して欲しい。

特に町との関わりでは、デジタルよりも地域に出て、人として交流して欲しい。

今年度から取り組んでいる公民館との連携は良い動きだ

問

今後の地域公共交通の在り方は、従来通りの進め方ではなく、新たな発想を持って、課を横断連携して取り組んでいきたい。

町長 新たな取り組みとしては、昨年、トローンの実証実験を行い、今後はEV車やライドシェア等にも取り組んでいきたい。

自動車地域公共交通会議等でしっかりと議論をして、関係各課と連携しながら取り組んでいきたい。

(注1) 地域住民が乗ること
(注2) 貨物と旅客の輸送、運送を一緒に行う形態のこと

教育長

文科省としては、ICT(情報通信技術)教育を進めているので、町としても進めていきたい。全ての教育がデジタルをやるわけではない。

一方で公民館での活動は、学びの協働推進事業として、地域の中で子供たちを育ていく場を作っている。



よねざわ ひろふみ
米澤 宏文 議員

Q 津和野町の災害応援協定や各種協定等の締結

A 災害時相互応援協定は全国の24自治体と締結

問

津和野町の災害応援協定や各種協定等の締結時期また協定内容は。

- ① 東京都文京区→災害応援等
 - ② 北九州市→鶴外ゆかり文化振興
 - ③ 岡山県津山市→三津同盟
 - ④ 大分県中津市→三津同盟
 - ⑤ 鳥取市鹿野町→亀井氏出身地
 - ⑥ 岡山県総社市→人的派遣
 - ⑦ 三重県明和町→災害応援等
 - ⑧ 京都府与謝野町→災害応援等
 - ⑨ 広島県廿日市市→津和野街道
 - ⑩ 鹿足郡吉賀町→津和野街道
 - ⑪ 山形県中山町→日本三大芋煮
 - ⑫ 愛媛県大洲市→日本三大芋煮
 - ⑬ 山口県萩市→防災協定
 - ⑭ 山口県宇部市→山口県央連携
 - ⑮ 山口県山口市→防災協定
 - ⑯ 広島市→平和首長会議認定
 - ⑰ ささな自治体協議会・防災研究災害支援協定…19自治体内、石川県能登半島の志賀町
- 以上の自治体と災害等で職員派遣や応援派遣また物資の提供等の相互応援の状況は。
- ※〇印が相互に人的支援・支援物資・資機材提供自治体。
- 今後、友好自治体または応援協定締結の計画は。
- 石川県能登地方の自治体鎌倉幕府の命により元寇

(蒙古) 襲来に備え、石川県能登から津和野へ着任され、津和野町の基礎を築かれた吉見氏出身地。

吉見氏は壮大な津和野城を築城されている。

●福岡県久留米市

亀井津和野藩稀代の名君と言われる亀井茲監公の出身地。

茲監公は久留米藩有馬氏から養子に來られ、藩校養老館の充実を図られ西周、森鷗外、福羽美静など多くの明治文化の先駆者を輩出されている。

嘉楽園
茲監公銅像



●邑智郡邑南町日貫地区

亀井津和野藩の飛び地約100km先の浜田市邑南町の地区。

日貫は津和野藩の最東端。令和5年日貫の女性が「津和野藩の飛び地 日貫 津和野奥筋往還道」の冊子を自費出版された。

新聞報道でも日貫は津和野藩の記事が2回出ている。

町長 今後、新たな自治体との災害時相互応援協定締結

の計画はないが、大規模災害で町単独では対処が困難な事態が起きた場合の備えの一つ

Q 米作付け時期変更試験栽培

A 栽培に適した品種の調査等

問

現在、津和野町の田植えは4月上旬頃、収穫は9月頃で約5ヵ月。

米は寒い地方の東北や北海道が美味しいと言われている。

近年、地球温暖化で9月収穫は真夏並みの暑さ。

農林課で7月田植え、5ヵ月後の11月下旬収穫の5アール程度の試験栽培はできないか。

4月田植えの9月収穫後2ヵ月半の11月中旬で、稲が丈60〜70cmに育ち、籾の中は少し白い。

この時期の田んぼは黄金色で見事に綺麗。

5ヵ月あれば十分籾が育つ。もし収穫に成功すれば全国的に注目されるかも。

町長 全国的に夏場の高温障害による、米の品質低下や収量減少の影響が出ている。

津和野町においても品質低下による1等米比率の減少等、猛暑への対応は喫緊の課

として、引き続き幅広く関係自治体との協定に向けた取り組みを検討する。

題となっている。

今年度、島根県農業組合西いわみ地区本部、県農林振興センター益田事務所、益田市、津和野町、吉賀町、県農業共済組合石西支所で構成する「石西地域農林振興協議会」において、暑さに強く「コシヒカリ」より熟期が早い「つぎあかり」の栽培実証を農事法人組合「なかその」の協力で行った。

結果「つぎあかり」の単収は642kgで2024(令和6)年度の津和野町基準単収493kgを大きく上回った。

本州で水稻作付が最も遅いのは6月下旬田植え、10月上旬収穫であり、7月田植え、11月下旬収穫の試験栽培は全国的にも珍しい試みである。

試験栽培には栽培時期に適した品種の調査等が必要なため、関係機関と連携を図りながら協議を行いたい。

Q 町民センターのトイレの改修を要望する

A 耐震改修工事に併せて検討したい



みちのぶ としあき
道信 俊昭 議員

問

町民との意見交換の時に出てくるのが、「町民センターのトイレ」の件である。

現在は「しゃがむ」という動作が極端に減っており、和式トイレが苦痛を強いている。

車椅子や足に障がいをもつ人にはなおさらである。早急な改善を要望する。

教育長 現在の洋式トイレの設置状況は、センターの事務室の隣のトイレに男女1カ所

ずつ、多目的トイレに1カ所設置している。体育館には、男女とも1カ所ずつ設置している。また、大集会室横のトイレのみ簡易の洋式トイレを設置。

Q ユーチューブ配信がなぜできないのか

A 写り込む映像に他の著作権があることがある

問

日本遺産センターの再認定の発表が近日中にある。要件は「民間企業と民間人がセンターをいかに活用したか」であった。つまり、行政と民間との協力体制が町の活性化にとって重要である。そのための第一歩は、行政と民間との情報の共有だと私は思う。

遺産センターはこの3年間にどのような策を講じたか。

教育長 日本遺産再認定対策については、町、教育委員会、日本遺産活用推進協議会が一体となって取り組んでいる。主要なものは、民間事業者

への経済波及効果を目的とした新商品開発支援事業補助金の実施、民間事業者との連携による日本遺産プレミアム付き商品券の販売、城跡観光リフトへのサテライトセンターの整備、町中コンシェルジュによるガイド環境の充実、訴求力のある出演者による講演会やシンポジウムの開催、県や益田市との連携による商談会や周知活動の実施、インバウンド対応として多言化の充実、歴史学習や学校への出張出前講座、百景よもやま話等を広報に連載など、多岐に渡る取り組みを実施してきた。

なお、再認定に関すること、去る10月に文化庁認定評価委員による現地調査があり、その際には、評価員からは良い評価が多くあった。町としては良い報告を待ち望んでいる。

問

日原中央公民館についての財源である国の補助金の名称は。具体的に何を求めるのか。また、年間の利用計画は。

教育長 日原地域活動拠点施設整備の財源については、内閣府の24（令和6）年度デジタル田園都市国家構想交付金を活用したい。

その施設の活用法としては、日原公民館、日原中央公民館が企画する社会教育に関する各種講座や研修会、イベントの実施はもちろんであるが、教育委員会が週2回実施している放課後子ども教室の拠点としても活用する予定である。さらに、WiFiを利用したeスポーツなどの活動をしたい。

問

行政主催の講演会をユーチューブで公開する旨を要請してきたが、演者に許可を得ることを何件行ったか。その結果はどうか。

「公文書」「録音」の情報開示はもちろんだが、他に職員が業務で身に着けた技術を教えることも情報開示の一つであると思うが。

教育長 講演会のユーチューブ配信については、CATVの地域限定された環境での公開のみ行ってきた。

講演は、資料を映写・配布することが多く、その権利関係の問題が講師の承諾を得にくい理由である。

なお、その後検討を行い、文化施設の企画展情報を紹介する「つわのミュージアムパスポート」の公開を10月より開始した。今後も定期的に行っていくたい。





おおえ れい
大江 梨 議員

Q 統合に向けての課題は

A 各法人の考え方や意識には温度差がある

問

津和野町社会福祉協議会、つわの福祉会、にちはら福祉会の3法人の統合に向けての取り組みを進めていると聞いている。介護事業所の現状は。

町長 当町では人口減少に伴い要支援・要介護認定者が年々減少しており、介護事業所の経営環境も厳しさが増している。

また、介護従事者の不足と高齢化も進んでおり、今後の既存サービスの維持をどのように測っていくかが喫緊の課題である。

問

今後の人口推計は。

町長 65歳以上の人口は現在の3335人から2040（令和22）年には2178人になると推計されており、その内、要介護認定者は24（令和6）年度の796人から40（令和22）年には649人になるという推計が出ている。

問

統合により、町としてどのような介護サービスを理想としているか。

町長 吉賀町のように社会福祉協議会を軸に、介護事業を担う3つの社会福祉法人が統合することで、町の関与を

強め、スケールメリットを活かした法人全体の安定的な運営を図る。

また、特別養護老人ホームについてはそれぞれの施設の老朽化もあり、建物の更新を考えなければいけない時期が近づいている。3法人の統合により、将来的に一つの施設に集約し、居宅介護支援事業、訪問・通所系サービス及び施設系サービスの一体的な運用により、介護におけるワンス・トップ窓口の創出、地域のニーズに合わせた効率的な経営を可能にしたいと考えている。

問

2施設の耐用年数は。

町長 施設の耐用年数は39年となっており、現在、つわの福祉会の施設は33年が経過。にちはら福祉会は27年が経過している。

10年以内には新たな場所に新たな施設を建設するの、どちらかの施設を修繕して使うのか考えなければいけない。

問

昨年度と今年度は統合に向けてどのような取り組みが行われたか。

町長 23（令和5）年11月に町長と各法人の会長・理事長等による「津和野町介護事業

所統合検討委員会」を立ち上げた。

また、各法人の事務方代表による「専門部会」を設置し、事務レベルでの意見交換をこれまでに8回行ってきた。

問

統合に向けた今後のスケジュールは。

町長 12月末に、検討委員会を開催する予定としている。

ここでの協議結果により、今後の統合協議の形や方向性が具体化するものと思われるため、その結果により改めて統合スケジュールを検討する。

問

統合に向けた課題は何か。

町長 これまでの協議の中で、各法人とも将来的な統合の必要性という点では一致しているものの、具体的な統合時期に関する意識や考え方には温度差があると感じている。

問

私自身も3法人から話を聞いた。

つわの福祉会とにちはら福祉会は、現時点での統合に納得されている様だが、社会福祉協議会が統合における将来ビジョンが曖昧という指摘があり、特に地域社会福祉事業の今後の展開について不安があり、統合のネックになって

いると感じたが。

町長 その点については認識している。

社会福祉協議会は全ての項目において町が主導で進めてほしいという意向である。

しかし、町としては町が主導すべきことと、皆で話し合っで決める部分があると考えている。

この点については十分時間を割いて説明したつもりではあるが、理解を得られていないことによるものではないか。

理解が得られる様に改めて努めていきたい。

社会福祉協議会の地域福祉事業については、現在、介護福祉事業から資金を補填し運営が行われている。

統合後に同様の資金の運用を行なっていくのか、また町からの補助金の額などについては協議に至っておらず、まだそのような段階でないというのが現状である。

問

3法人の統合が難しい場合はひとまず2法人の統合もあるのか。

町長 並行し、さまざまな可能性を検討している。

Q つわみん生活応援券はなぜ使用開始より2週間程度早い送付になったのか

A 10月1日からの使用に間に合うように配布した



よこやま もとし
横山 元志 議員

問

物価高騰対策重点
支援給付金支給事業
補助金にて町民1人当たり5
000円分配布された「つわ
みん生活応援券」であるが、
9月中旬に簡易書留にて送付し
使用開始は10月からと封筒に
は記載がある。

9月中とは言え、中旬には
すでに配送されており、この
ことを巡って町田商店会内で
混乱があり、なぜ使用開始期
限よりはるかに早い送付にな
ったのか。

町長 早い時期から「応援券
はいつ届くのか」といった問い
合わせもあり、10月1日から
の使用に間に合うように配送
し、結果的に地域により2週
間程度の差が生じた。

問

10月1日と言え、
郵便料金の改定があつ
たが、影響はあつたか。

町長 簡易書留の改定はな
かつたので影響はなかつた、1
件当たり350円の配送料で
ある。

問

結果的に2週間程
度早い送付になり、
町内進出企業2社に混乱を与
えることになった、そのこと
で影響は地元小規模経営の商
店等にも及んでいる。

また、その混乱で町民の皆
さんにまでご迷惑をおかけし
ている。

次回があるとすれば慎重に
事業を進められたい。

町長 そう言った意見を踏ま
え、関係機関と協議し検討し
ていきたい。

問

時々ある支援事業
であるが、今回は金
券の配布となった。券の配布
となると印刷費・封入作業、
そして郵便局への送付の依頼

Q 空き家情報バンクの物件に入居を希望した場合、所得証明は必要か

A 家賃の支払い能力を確認する資料のひとつとして求めている

問

確かに入居希望者
の精査の必要性はあ
るが、所得証明まで必要か。

当町に転入を希望する多く
の方が最初に訪れる窓口で、
所得証明の提出を求められれ
ば気分を害し、転入を見送る
ケースがある。

町長 確かにそういったこと
は考えることができる。精査
の方法を検討しなおしたい。

問

空き家情報バンクに
登録したいと相談した
ところ難色を示され諦めたとい
う方がおられたが事実か。
町長 お断りしたという事実
はない。

等、給付金以外にも多額の費
用が発生してしまう。

電子マネーであれば、かな
り費用が抑えられると考える
が、普及・促進の計画はある
か。

町長 利便性も良いと思う
が、利用できない方も多く、
各種事業所においても利用で
きない店舗が出てきた場合に
は公平性がなくなる。

このことから電子マネーの
配布は難しい。

問

傷みが大きく大規模な修繕
が必要と判断した場合、「入
居者とのマッチングが容易で
はない」と伝えることはある。

町長 断つたのではなく
「難色を示された」と
のこと。

問

基本的には入居者で
あつて、町職員ではない。
難色を示すのではなく、登
録希望は基本的に全て受け
入れられたい。
町長 基本的に受け入れる
体制でいきたい。

問

民間賃貸住宅建設
(改修)支援事業補助
金を活用し改修された物件

であるが、少なくとも2世帯
が入居の希望を改修工事中に
相談したが、一向に空き家情
報バンクのサイトに上がるこ
となく、他の方が入居された
ときいたが、現状と経緯は。

町長 この事業は空き家情報
バンクに掲載し管理するもの
ではなく、入居者については
空き家所有者の判断により自
由に決定することができる。

この物件については、所有
者が入居希望を聞いていたの
は現在入居中の1世帯のみで
あつたときいた。

問

この物件の補助金
交付決定はいつか。

町長 2023(令和5)年
である。

問

改修工事は24(令和
6)年の夏ごろと確認
しているが、交付決定から改
修工事着工までの間に、すで
に入居希望と契約が済まされ
ていたということか。

町長 おそらくそういったこ
とだろう。

問

所有者と入居者の
関係性は。
近しい関係性でなければ着
工前にその物件の存在は知りう
ることができないと考えるが。
町長 把握していない。

提出者	議案・賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	道	大	米	横	沖	御	三	田	寺	川	結果
		信	江	澤	山	田	洗	浦	中	戸	田	
町長	令和6年第9回(11月)津和野町議会臨時会											
	【専決処分】令和6年度津和野町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
	津和野町教育委員会委員の任命 清水留美子氏	無記名投票										可決
	令和6年度津和野テニスコート改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
町長	// 町内学校サーバー機器等の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	令和6年第10回(12月)津和野町議会定例会											
	森鷗外研究センターの設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 枕瀬山森林公園の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和6年度津和野町一般会計補正予算(第7号)	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
	// 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
// 下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和5年度町道杉片河東線常盤橋修繕工事請負変更契約の締結	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決	

(令和6年11月27日臨時会)

専決処分の承認

●令和5年度町道円の谷線晩越トンネル修繕工事請負変更契約の締結

随意契約 内田建設(株)

変更契約の金額 469万3千700円増額

専決年月日 令和6年11月1日

人事

●津和野町教育委員の任命

津和野町日原 清水留美子氏

契約の締結

●津和野テニスコート改修工事請負契約の締結

金額 5610万円

完成 令和7年3月31日

一般競争入札 昌和道路(株)

条例改正

●森鷗外研究センターの設置及び管理に関する条例の制定

(令和6年12月定例会)

物品購入契約

金額 1142万9千円

随意契約 (株)ミック益田支店

納入期限 令和7年3月31日

契約の締結

●令和5年度町道杉片河東線常盤橋修繕工事請負変更契約の締結

変更金額 6301万100円

変更前金額 5335万円

変更額 968万1100円

完成 令和7年3月28日

随意契約 堀建設(株)

条例の一部改正

●津和野町職員の給料に関する条例の一部改正

条例の一部改正

●津和野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

条例の一部改正

●津和野町枕瀬山森林公園の設置及び管理に関する条例の一部改正

活性化と関係人口の拡大、移住促進を目的とする。



寄贈を受けた佐々田正徳記念 森鷗外研究センター



10月8日から11月14日までの期間で町内全10会場にて、津和野町議会と町民の座談会を開催しました。
お越し下さった方々と様々なお話をさせて頂き、緊急を要するような案件や、長きにわたりご心配されていたことなど、貴重なご意見・ご要望を頂くことができました。
頂いたご意見は今後の議会活動の参考にさせて頂き、できるだけ早く問題を解決できるように努めていきたいと思ひます。

参加者の声



- 座談会に参加して何十年もの悩みが少し楽になった。
- 現状を変えるために何をしていくべきかという議員さんの気持ちを、もっと聞きたかった。

- 悲観的な感じでなく、もう少し前向きな話になるとよかった。
- 回を重ねることで認知されると思うが、町内周知の方法を工夫し、より多くの参加があると良い。



- もっと話がしにくいかと思っていましたが、思っていたより明るい場だった。
- ママ友たちと子育て環境について話し合えるようなイメージで、子育て世代が参加しやすい日中開催もあれば嬉しい。
- 議会として大事にしたい価値観・ビジョンが見えると良い。

- 1つの議題に時間がかかりすぎたので、もう少し色々な話をしたかった。
- 意見を言いにくい固い感じがあった。もう少しざくばらんに会話ができる会場の雰囲気作りが大事ではないかと思う。





全10地区にて 議員と町民の 座談会 を開催しました

こんな事が話題になりました！



農林業

- 有害鳥獣対策 各会場ともこの話題は出てきており、農業者にとって喫緊の課題。
- 空地・耕作放棄地の管理 荒れ放題の空き地や耕作放棄地の管理や対応。
- 道の駅シルクウェイにちはらの食肉加工処理場の現状 管理者がいない、現状は？
- 県宮林道の草刈り 当町側は比較的整備されているが、益田市側の整備が追いついていない。



観光

- JR利用促進（乗客への配慮・跨線橋の問題等含む） 津和野駅で障がい者等、跨線橋を渡ることが困難な方のためにも、線路を渡れないか。
- 東京事務所の目的等 東京事務所を設置している目的が見えてこない、必要性あるのか？
- 観光客も利用できる喫煙所・分煙条例 伝統的建造物群保存地区の中にタバコを吸える場所がない。



教育

- 国民スポーツ大会とその後のボルダリング 日原カントリパークに建設予定のボルダリング施設は国民スポーツ大会後どうするのか？



暮らし

- 地域交通対策 免許証返納・通学など苦慮している。
- 除雪 町道の除雪は積雪 20cm 以上になり、自治会長から建設課に要請があって、はじめて除雪される。その基準を 15cm にできないか？との要望。
- 町道等の修繕を住民が実施した場合の材料等の支給 修繕を要望しても、なかなか対応してくれないので、住民で施工し材料代等を支給して欲しい。
- 投票率向上のための対策（移動手段・ポスター掲示・立会人・投票所） 年々投票率が低下している原因のひとつとして、投票所まで行けない方が増えている、また立会人のなり手不足の話も。
- 町営住宅（町営住宅間の移動） 町営住宅から町営住宅への転居ができない理由は何？
- 空き家に対応できる業者が1社しかいないためのトラブル 津和野町住宅相談員が 1 社しかいないため、公平性にかける。仲介料は発生するのか？
- 水源地の状況（水源地までの道中の管理） 特に積雪時、水源地まで行くのはかなり危険。
- 消防車庫周辺の管理 周辺の舗装に穴が開いているものを修繕して欲しい。

所管事務調査報告

●文教民生常任委員会

津和野町における廃棄物の現状

●ゴミ排出量

人口減少により、年々減少傾向。空き家の増加等により粗大ゴミ量は増加。

可燃ゴミは、水分量の多い草木類の搬入が増加。

また金属類の混入により、設備の故障等が発生している。

R5ゴミ排出量（津和野町）		
可	燃	1,381,020 kg
容	器	包
装	プ	ラ
129,420 kg		
商	品	プ
ラ		
65,310 kg		
粗	大	ゴ
ミ		
202,820 kg		

●ゴミ処理減量計画

環境教育、リサイクルの取り組み、ゴミ処理施設見学等、町民に対してゴミ処理の状況について、情報共有し、認識を深めてもらう。

●不法投棄の現状

自治会と連携して町内一斉清掃の実施、また益田保健所や関係機関と連携しながら、不法投棄防止のパトロールを行っている。

●キエーロ・コンポスト申請状況

コンポスト3件9,400円
キエーロ0件

●調査意見

●容器包装プラスチックゴミの適正な分別、可燃ゴミの金属混入と水分を含む有機物（草木や落葉）の持込について、町としての対策を講じていきながら、町民への啓発に努めていくべきである。

●ゴミ減量の観点から、キエーロやコンポストの普及活動を、引き続き津和野町環境パートナーシップ会議と連携して進めていくべきである。

●プラスチックゴミを熱源利用でリサイクルしているが、環境負荷を避けていくために、今後熱源利用されるプラスチックゴミをどう減らしていけるかが課題である。

●搬入量の多い粗大ゴミは、現状、業者回収か、破碎後焼却処分されている。今後再利用できるシステムを、町として作って行くべきである。

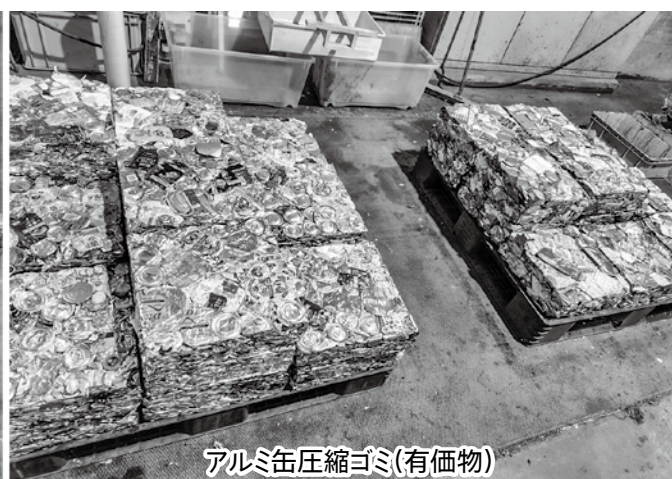
●有価物に関しては、貴重な財源になっており、今後も分別回収を徹底されたい。



焼却される商品プラスチック



圧縮梱包されたペットボトル(有価物)



アルミ缶圧縮ゴミ(有価物)

●議員定数及び報酬等調査特別委員会（中間報告）

- 津和野町議会議員の報酬を調査し、本議会における適正な議員報酬を検討した。
 - 本委員会に町長に出席いただき、意見交換の場を設けることを検討している。
 - 報酬の改正について津和野町特別職報酬等審議会に具申することとした。
 - 本年度実施した議会座談会において「高齢者が投票することが難しくなっている」旨のご意見をいただいた。
- 本委員会において、町民の選挙権の行使の在り方についても調査を行うこととした。
- 右記のことから、引き続き継続調査とする。



全員協議会

日原地域活動拠点施設建設

11月27日（水）

町は、当該施設に関する住民説明会を実施し、延べ140人の参加があり、「建設に際し、反対の意見もあったが、概ね賛同をいただいた」旨の報告を受けた。

住民説明会を経て新たに左記の点を追加することが報告された。

- ①施設入口に雨天時にも車の乗り降りができるよう屋根を設置
- ②集会室に収納式ステージの設置
- ③調理実習室に勝手口を設置
- ④施設周辺に足洗い場（散水栓）の設置
- ⑤敷地入口付近もしくは堤防沿いにベンチの設置

町長からは、議会に対し新年度予算に向けて当該施設建設に係る補助金（2億円）の申請を行いたい旨の説明を受けた。

議会からは、施設建設に賛成する議員もいる中、施設の規模の縮小や価格高騰に対す

る懸念、近隣施設との連携計画の提示、2つの中央公民館は不要、など補助金申請に慎重な意見が多くあり、町は再度内部協議を行うことになった。

12月13日（金）

町は、日原地域活動拠点施設整備の基本構想と、施設の利用想定（延べ8713人／年）を示した上で、改めて11月27日に示した案で補助金の申請を行いたい、と議会に回答した。

議会からは、設計を見直すべきという意見や、申請すべきではないとの理由から補助金の申請に反対する議員の意見もあったが、事業を進めるために申請すべきという議員が多数を占めた。

なお、建設予算は3月定例会の令和7年度当初予算で示されるとの説明があった。

これまでの経緯と施設の規模

2020（令和2）年、日原山村開発センターを解体撤去。

現在の公民館に移転。
23（令和5）年5月、議会

に旧日原山村開発センター代替施設として集会所施設を新設することが報告される。

24（令和6）年2月、議会に物価高騰も見込んだ予算として4億7000万円を見込んだ予算と平面図を報告。

24（令和6）年9月25日、議会に詳細設計を示し、住民説明会の開催を報告。

施設は旧第2庁舎跡地に4億7000万円規模で建設を予定。

施工面積823・06㎡、床面積724・22㎡。

【お詫びと訂正】

『つわの議会だより2024 VO.76 9月定例会』の3ページ中、「木質バイオマス発電機1基の設置。発電加熱。」とありましたが、正しくは「木質バイオマスガス化発電機1基を設置することの調査費」でした。

また、7ページの画像は「津和野の可燃ごみを処理する益田リサイクルプラザ」を掲載するところを、誤って「益田クリーンセンター」を掲載しました。

訂正しお詫び申し上げます。

「つわの議会だより」読者モニター

今回は表紙の令和トンネルに関連して、喜時雨自治会長の
内容健二さんにお話を伺いま
した。



— 山入と喜時雨をつなぐ令和トンネルが完成します

内容 これまで、大雨が降ると山入地区の県道は浸水することがありました。道路と浸水部分との境目が分からなくなると、車がそのまま突っ込んでしまい事故になることもありましたが、そのような心配がなくなると思っています。また、山入から喜時雨の県道は道幅が狭く日陰でアイスバーンになりやすい状況でした。地元民は気をつ

けていますが、地区外から通行される方もおられるので、今後は皆が安全に通行ができると安心していきます。

— トンネル工事の影響は何かありましたか

内容 やはりダイナマイトで発破をしていくので、地区の一部では揺れが大きかったようです。自治会長の私のところに多少の苦情もあつたため、建設業者に伝え対応しました。

業者の皆さんは地区の事を非常に気にかけてくださり、工事の進捗がわかるお便りの配布や自治会でのイベントに参加もしてくださっていました。

— 今年の喜時雨を振り返っていかがですか

内容 私が自治会長になって以来、亡くなる方も多く寂しいです。高齡のお一人住まいもあり、心配も増えました。ですが、私は綺麗な集落を作りたいとい

うのがポリシーですので、参加できる人手は限られてきていますが、メンバーの先頭に立って地区の環境整備を進めています。

— 議会だよりについてご意見はありますか

内容 議会だよりには毎回、全体に目を通すようにしています。

テニスコートも新しくなるそうですので、また多くの方の利用があるといいなと思います。隣のグラウンドも昔は隣の高田自治会との合同運動会などがあつて盛り上がりました。自治会で企画は難しいですが、また何か賑わいがあればいいなと思います。

喜時雨地区は町の中心部から遠くはありませんが、それでも高齡者の移動手段については心配をしていますので、そのあたりの議論も議会ですでにいただけるといいですね。

(聞き手 大江 梨)

■編集後記

令和6年の今年の漢字は「金」でした。議会においても「金」(議員報酬の改定)の議論が始まり、座談会においても町民の皆さんにご意見を伺いました。金額の問題もですが、その前に議会の仕組みや議員の活動が町民のみなさんにしつかりと伝わっている事が大事だなと改めて感じる機会になりました。そのためには、この「議会だより」が担う役割も大きいと思っています。

県内外の議会だよりの事例を見てみると、雑誌のような素敵なデザインのものや、独自目線で取材した特集記事など一般的には固い、面白くないという議会だよりの印象を大きく変えるものが数多くあります。

良いものはどんどん真似をして津和野流にアレンジして取り入れていけたらと思っています。

大江 梨

広報広聴常任委員会

◎横山 元志 ○田中海太郎

大江 梨 米澤 宏文

三浦 英治 川田 剛